

令和6年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）に係る 大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1 日 時

令和6年5月23日（木曜日） 午前10時00分から午前10時30分まで

2 場所

Web会議

3 対象事業

離職者等再就職訓練（知識等習得コース、企業実習付コース）に係る事業者選定

4 選定委員

榎 伸浩（大阪府社会保険労務士会）

長町 理恵子（追手門学院大学経済学部）

池内 宏行（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部）

後藤 拓真（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部

近畿職業能力開発大学校）

5 審査方法

令和6年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）企画提案公募要領記載の審査基準に基づき、4名の選定委員会委員が書類審査を行い、令和6年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）企画提案公募要領【追加募集】の7の(2)審査基準の配点に基づき採点・評価した。

6 議事概要

令和6年度に実施する大阪府委託訓練（離職者等再就職訓練）追加募集の実施事業者を選定するため、企画提案公募を実施し、応募のあった事業者の企画提案についてその内容を選定委員会で評議するとともに、得点の高い順に公募科目に応じて選定した。

7 選考委員発言等要旨

カリキュラム内容、就職支援内容の評価、採点にあたっての考え方等について意見があった。

- ・各者内容は様々であるが、全般的に具体的に記載された企画提案が多かった。
- ・担任教員の有無、個別対応の可否、常勤教員の配置割合、具体的な訓練効果、独自の取り組み、習熟度が低い受講生への支援体制、分析資料などについて、具体的に記載された企画提案は高く評価した。
- ・企画提案調書の記載内容や訓練の仕上り像、実際のカリキュラムの構成について整合しない企画提案があった。
- ・来年度募集に向けて、各項目の配点や採点基準等について、訓練・カリキュラムや就職支援の内容への評価がもっと反映できるよう見直してもいいのではないかと。